

長松小学校学校だより

R6 年 10 月 29 日発行

# えがおいっぱい 74 号

R6 年度 運動会

～Q & A～

Q1 午前中でおわるため、出場種目が少なく物足りなく感じました。

→ 前は終日していましたからね。私も分かります。ただコロナ禍を経験し、子どもたちの体力の面、運動会にむけてかける時間も随分スリム化しました。学習時間の保障です。また P T A の会議でも午前中開催について会長様にたずねてもらった項目です。圧倒的に午前開催に保護者様の賛成が多いのも事実です。こういった面から現在午前中開催としています。

Q2 3 年生の競技が、足の速い子が活躍する場面が 1 つもなかったのが残念でした。徒競走と呼べるものがなかったのが、運動会の醍醐味を削ってしまったのが残念です。

→ 3 年生だけが準徒歩で徒競走がありません。これはコロナ禍運動会で準徒歩が全てカットとなり、少しでも準徒歩を体験させたくて、R5 年度より学年固定で 3 年生種目に入れたものです。競技内容に関しては子どもたちと話し合ったり、希望を入れたりしながら「作っていく種目」として位置付けています。3 年生を徒歩に戻すと、準徒歩を経験することがなくなりますが・・・子どもたちにとって何を優先するのか、考察が必要な部分です。

Q3 3 年生がソーラン節をしたのは凄く頑張っ  
てはいたけど、やはり 5 年生の方が見応えがある  
と思う。

→今年から 3 年生がソーラン節に取り組みました。鼓笛とのつながりを考えて、5 年生はフラッグで全体の美しさを表現し、3 年生は伝承の動きを受け継ぎ、表現する楽しさを味わう。ここに価値を置いて、取り組みを開始しました。

子どもたちの精一杯の姿、素晴らしかったと思っています。

～運動会は誰のもの～

たくさんの感想をいただきました。ご意見を読んでいると「運動会は誰のもの？」と思うご意見もありました。

私は、学校行事として子どもたちの気持ち・態度・活動を保護者様にお伝えする場と位置付けています。

子どもたちと職員と保護者様とで R6 年度思いや熱のある運動会をした！と感じています。

応援メッセージからお叱りメッセージまでいろいろなご意見があります。P T A と共有し、今後に活かしたいと思います。

私は校長として、R6 年度思いのこもったよい運動会だったと子どもたちにも話をしてしています。ご多用な中たくさんのご回答、心より感謝いたします。

お寄せいただいたメッセージをエネルギーとして霜月も進んで参ります！